

急性腎障害における長期的な予後及びそのリスク因子についての網羅的な探索

1. 研究の対象

1981年10月～2025年12月に当院で血清クレアチニン検査を2回以上受けられた方

2. 研究目的・方法

急激な腎機能低下を引き起こす急性腎障害は死亡に至らない場合でも予後は悪いと言われており、近年急性腎障害からの回復の期間によって予後が異なると考えられています。そこで実際の診療データから回復の状況及びその予後に関わる評価を行うことは患者予後評価にとって大変重要です。そのため、回復が遅れる因子や予後に関わる因子を網羅的で長期的な時系列解析によって明らかにすることを目的とします。

急性腎障害の発症群、非発症群に分割して発症のリスク因子、及び発症群における回復に関わる因子の網羅的な解析研究を行い、慢性腎臓病への移行リスクを評価します。

この研究は、倫理委員会承認日～2027年3月31日まで行われます。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：年齢、検体・細菌検査、病歴、処方歴、手術・処置歴 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

研究責任者 国立高知大学大学院医学部附属医学情報センター 畠山 豊

高知県南国市岡豊町小蓮 高知大学医学部附属医学情報センター

088-880-2539